



AI活用型オンデマンドバス(ODB) への取り組みについて

ネクスト・モビリティ株式会社

のりとも



NEXT MOBILITY

目次

1. 弊社概要・サービス等
2. 弊社としての頑張りポイント

本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

会社概要

ネクスト・モビリティ株式会社
NEXT MOBILITY

西鉄との協業での
自主運行を通じて
ノウハウ蓄積

設立年月日 2019年3月8日

所在地 福岡本社

資本金
(資本準備金含む) 2億5,800万円

代表者
社長 田中 昭彦 (【兼務】西日本鉄道(株) 自動車事業本部 部長)
副社長 藤岡 健裕 (三菱商事(株) より出向)

事業内容

① **自主商業運行事業【道路運送法4条乗合】**
(福岡県東区アイランドシティ / 運行は西鉄)

② **事業者/自治体向けソリューション提供事業**
(AI活用型オンデマンドバス等交通関連システムの提供、コンサルティング、各種業務支援等)



西日本鉄道株式会社
Nishitetsu



三菱商事株式会社
三菱商事



本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

弊社提供ソリューション

ODBサービス提供事業者様

(自治体/交通事業者/各種法人等)

仕組みを
ワンストップでご提供

NEXT MOBILITY

オンデマンドバス関連ソリューション

**ODB運行管理
システム**
(クラウド型)
spare

各種H/W

- 車両/車載器
- 交通系IC
- 乗降拠点等

アドバイザー

- プロマネ
- 上位計画
- 協議会
- 事業成功等

各種業務受託

- 販促物制作
- 電話受付
- 運行管理等

周辺サービス連携

- MaaSアプリ
- 路線バス連携
- 地域連携
(商業/医療等)
- 自動運転等

取り組み経緯

- 2018年 3月 三菱商事が西鉄に声掛けし、ODB事業の本格検討開始
- 12月 カナダ Spare Labs社を技術パートナーに選定
(※当時の国内外主要ベンダー10数社を比較検討)
- 2019年 3月 **弊社設立、Spare Labs社に(三菱商事が)出資・役員派遣**
- 4月 福岡市アイランドシティ地区にて実証運行開始(のるーと)
(今日でも運行継続中。延べ約20万人の乗客を輸送)
- 2020年 6月 **全国のお客様へのソリューション提供型事業を開始**
(※他社様にご紹介できる一定水準へと仕上がったと判断)
- 2023年 2月現在、全国11箇所サービス提供中
+ 数箇所新規サービス提供実施準備中

弊社としての頑張りポイント

1

“社会実装”へのこだわり

2

“交通(運行)事業者”の目線

3

“あらゆるニーズ”への備え

本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

全11サイトで運行サービス継続中 単発の実証実験で終わったサービスは無し

- 1 “社会実装”へのこだわり
- 2 “交通事業者”の目線
- 3 “あらゆるニーズ”への備え

福岡市東区アイランドシティ
□ 19年5月～継続運行中

福岡市西区壱岐南
□ 20年6月～継続運行中

福岡県宗像市日の里地区
□ 20年3月～継続運行中

福岡県古賀市
□ 22年10月～
□ 運行中

福岡県宇美町全域
□ 23年2月～
□ 運行中

島根県松江市八束地区
□ 23年4月～
□ 運行準備中

長野県安曇野市全域
□ 22年11月～
□ 運行中

福島県会津美里町全域
□ 22年11月～
□ 運行中

福島県喜多方市全域
□ 22年10月～
□ 運行中

長野県塩尻市市街地
□ 20年11月(単月)
□ 21年10月～
□ 継続運行中

大阪メトロ様MaaSアプリ向け提供
□ 21年3月～継続運行中
(弊社はAPIサービス提供)

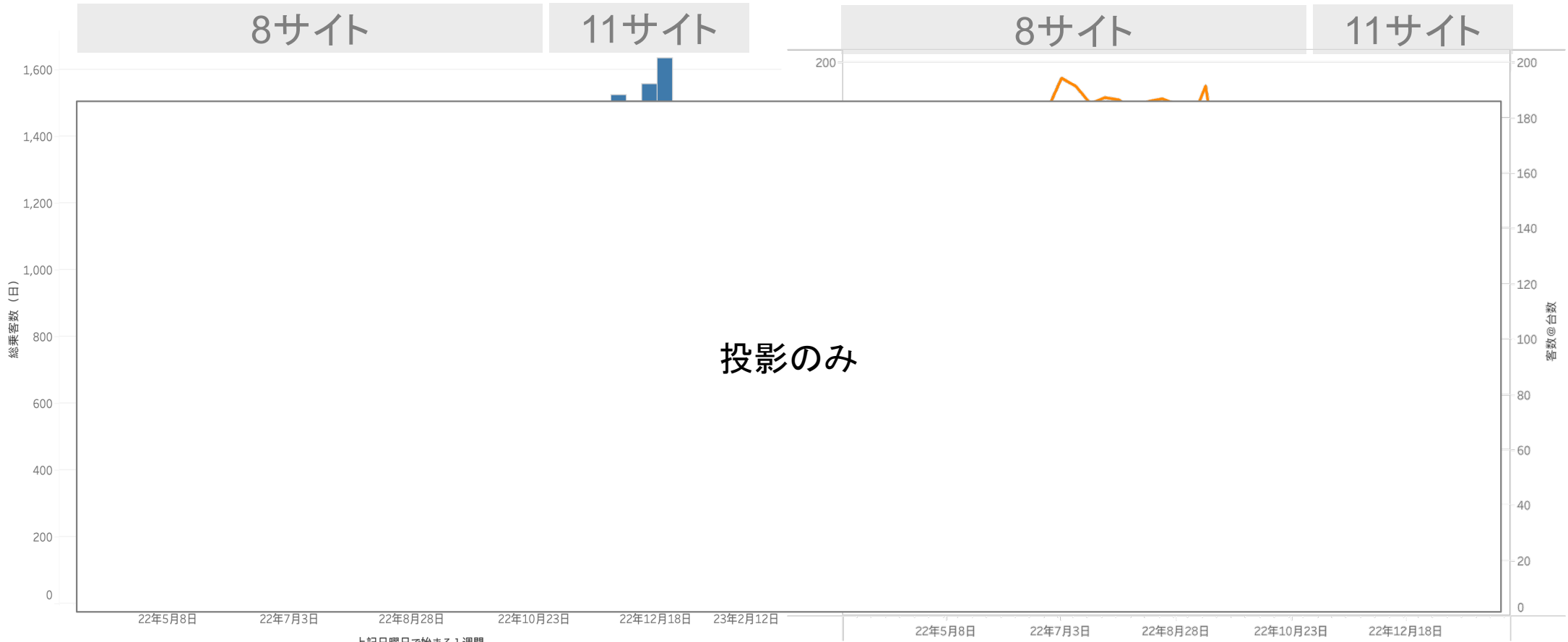
三重県桑名市市街地
□ 21年11月(単月)
□ 22年10月～
□ 運行中

本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

- ① “社会実装”へのこだわり
- ② “交通事業者”の目線
- ③ “あらゆるニーズ”への備え

導入サイト数はまだまだ少ないが、 少しずつ利用実績を積み上げ中

週次推移(22年4月～23年1月)

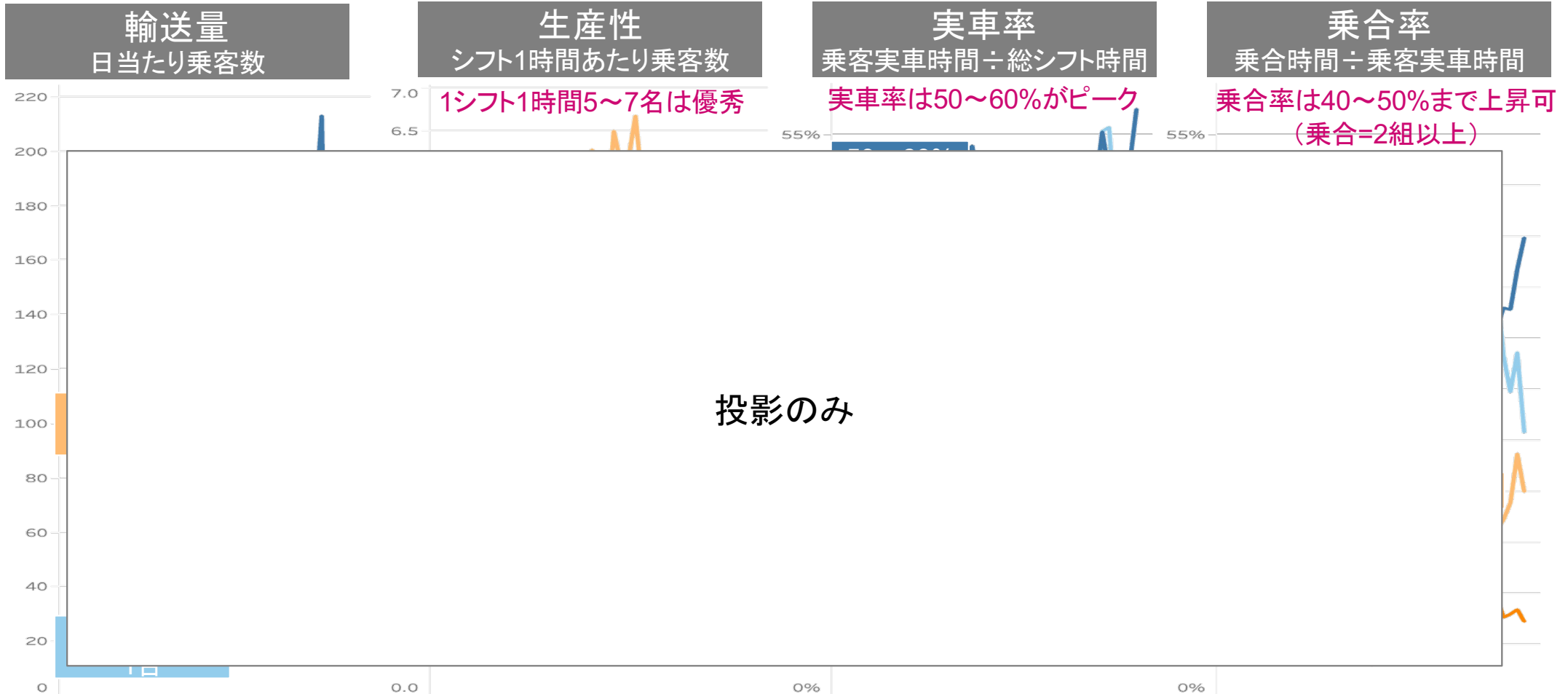


本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

乗車数の多いサイトでもまだまだ輸送力がある

- 1 “社会実装”へのこだわり
- 2 “交通事業者”の目線
- 3 “あらゆるニーズ”への備え

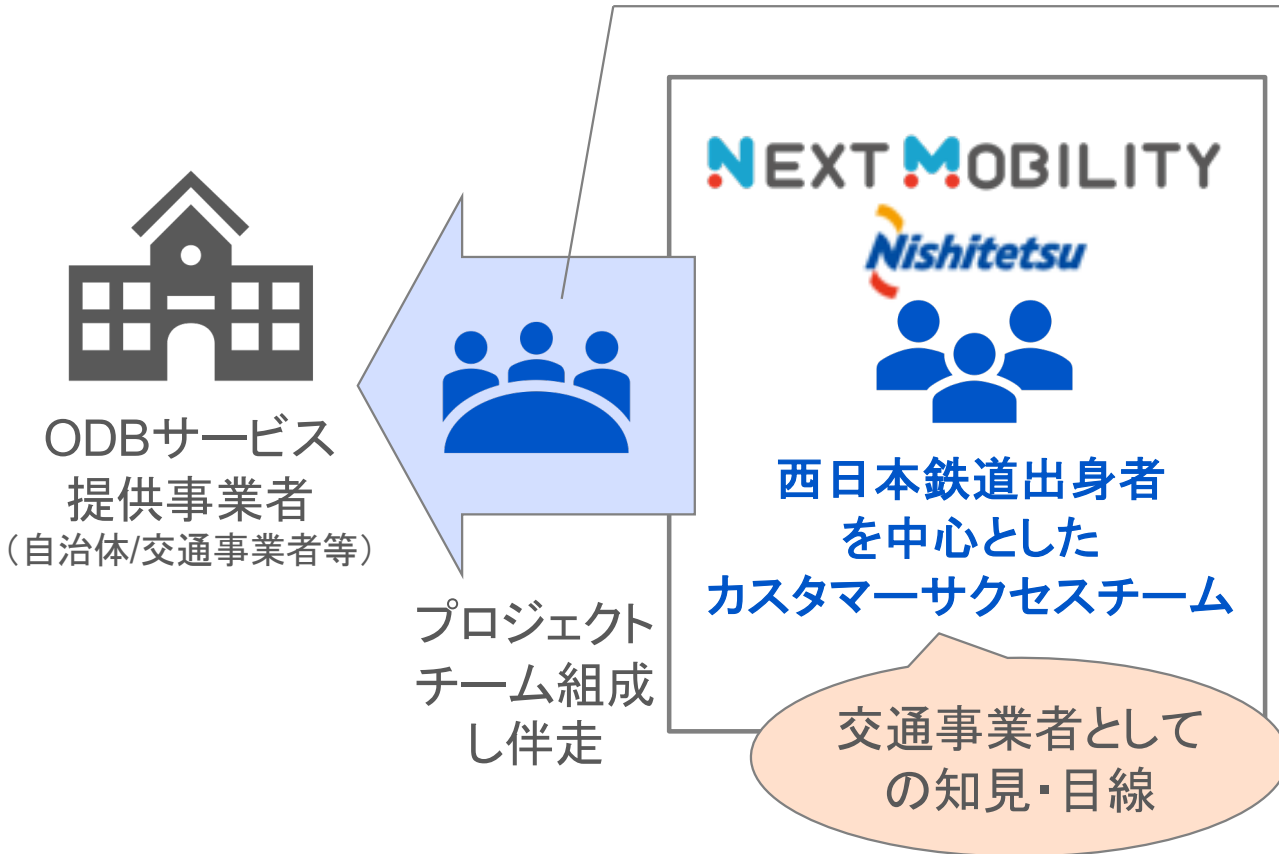
週次推移(22年4月~23年1月)



大手運送事業者出身者を中心としたチームが 運行事業者目線で伴走サポート

- ① “社会実装”へのこだわり
- ② “交通事業者”の目線
- ③ “あらゆるニーズ”への備え

サポート内容の例



- ✓ 公共交通目線での運行計画
(道路運送法/運賃区分等々)
- ✓ 地域公共交通協議会の支援
- ✓ 各種申請(車両/乗合免許等)
- ✓ 改善基準準拠の労務管理
- ✓ 乗務員に易しい車載器/備品
- ✓ 緊急時対応プロシージャー
(トラブル時/悪天候時対応等)
- ✓ 路線バス水準の乗務員講習
- ✓ 乗務員との関係構築、等々

本セミナー投影限り(スクリーンショット厳禁)

一つのプラットフォームで多様なニーズへ対応

- ① “社会実装”へのこだわり
- ② “交通事業者”の目線
- ③ “あらゆるニーズ”への備え

多様なユーザー層

- 高齢者
- 障害のある方
- 通勤者
- 通学者
- 生活者

各ユーザー層に適した
個別インターフェース

多様なエリア形状

- 都心部
- 地方部市街地
- 郊外住宅地
- 人口分散地域
- 自治体全域
- ...

多様な運行形態

- フルデマンド
- セミデマンド
- Door To Door
- 従業員等送迎
- それらのMIX
- ...

多様な拡張性

- マルチエリア
コントロール
- 1つのアプリで
全エリア利用可
- API連携
- ...

単一のクラウド型プラットフォームで統合的な運用管理が可能

オンデマンドバス関連ソリューション
(運行管理システム/HW/アドバイザリー/業務受託)

周辺サービス連携
(MaaS/路線バス連携/地域連携/自動運転等)

NEXT MOBILITY

新たなモビリティサービス導入時の要諦

① 課題の特定・明確化

現状公共交通の課題洗い出し、
解決すべき問題の特定・明確化

(意義)関係者間で課題を共有し、
計画策定～導入後の成功実現まで意識統一

② 利害関係者の立場を理解した上での事業計画作成

地元住民や交通事業者などの
利害を理解、考慮した上での策定

(意義)地元事業者の協力は不可欠、当事者意識の
醸成・スムーズな関係者間の調整に貢献

③ 十分な準備期間の確保

準備期間を確り確保し(1年前から最
低半年前)、関係者との対話を重視

(意義)関係者の理解・納得を得た上での導入により、
導入後も含めた関係者間の協力体制を構築

④ 運行開始後も継続的な改善

運行開始はスタートライン、
導入後も継続的に成功実現へ努力

(意義)導入前のKPIを確実に実現していくことで、
持続化への理解を獲得し、更なる展開も可